



のびのび若っ子

今と昔をつなぐ

副校長 井関 眞澄

いよいよ2月。今年度もあと二ヶ月となりました。本当に時間の流れは早いと感じます。今年度の子どもたちの登校日数も6年生で32日、1~5年生で36日になります。一日一日を大切に過ごし、今年度のまとめをするとともに、次年度への準備を進めてまいります。

昨年末、本校の12年前の卒業生から電話が入りました。「12年前に埋めたタイムカプセルを掘り起こしたいのですが…」というお話。若小の体育館が今年6月から改修工事に入ることを知り、その前に、掘り出したいとのことでした。小学校が冬休みに入ったらということで、昨年12月26日に日が決まり、当日は、当時の担任の先生も駆け付け、12年前の卒業生10数名が集まりました。皆さん、立派な社会人になられ、12年前に若小をリードした子どもたちだったんだなと思うと、感慨もひとしおでした。

「きっと、この木の根元…」12年前の記憶をたどりながら掘ること1時間…集まった皆さんの記憶を頼りに掘り進めますが、なかなかスコップに手応えがありません。場所をかえようとした時に、土の色が変わってきました。「これじゃない!?!」木の根を避けながら掘り進めていくと、「あっ、これだ!!」と確信に変わりました。ガムテープでがっちり蓋をされた30センチ四方の缶が12年ぶりに掘り出され、太陽の光を受けました。慎重に開けられた缶の中には、水が入ってしまっていたのですが、子どもたちの絵や文集、CD、駒など、当時の思い出や夢を託した品々が出てきました。当時の子どもたちの思いが、12年ぶりに集まる機会をつくり、お互いの近況を伝え合う場となりました。人と人、人と土地、人と環境の今と昔がつながり、未来に向けた新たなエネルギーを感じる時間でした。



若小の体育館は、今年6月から全面改修工事に入り、来年2月に完成する予定です。新しい体育館には、現在の体育館の床材の一部を使用して、壁面にデザインを施す計画を盛り込んでいます。若葉台北小時代から行事や学習、地域でも、たくさんの人に使われてきた40数年の重みのある素材を残すことで、昔から今につないでいきたいと考えています。



若小の校庭には、まだまだその時代の宝物が眠っていて、人が集まる機会を待っているのではないかと、ワクワクします。子どもたちの健やかな成長、人と人との豊かなつながりを願う気持ちは今も昔も同じです。若葉台の豊かな土地で、綿々と受け継がれていく人や物のつながりが、子どもたちの成長にどれほど大切なものか、感ぜずにはられません。保護者の皆様、地域の皆様、これからもどうぞ心のよりどころとなる若小の歴史を紡ぐためにご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標
『自他共に大切に作る心を育みます』
『意欲的な学びの芽を育みます』

文集の1枚1枚を丁寧にはがして、汚れを落とし、一人でも多くの人に返せるように…

